

ご挨拶



病院のリハビリテーションは(それなりに)充実してきました。しかし、地域におけるリハビリテーションは地域格差が大きく、多くの場所では不十分な状態です。

『障害者や高齢者が、自分らしくイキイキとした生活を送れるようにリハビリの立場から支援する』ことを目的に、私たちは平成 18 年度からおもと会地域リハビリ支援センターを運営しています。

平成 20 年度もこれまで同様に、障害者や高齢者、関係者のみなさまのご要望に応え、お役に立つ活動を続けたいと考えています。今年度もよろしく願い申し上げます。



平成 20 年度・おもと会地域リハビリ支援センターの活動計画

1. リハビリに関する相談

電話 0120-333-432

リハビリに関すること、医療・介護に関すること、何でもお気軽にご相談下さい。おもと会総合案内センターで、365日お受けいたしております。



2. 講習会の開催

地域や施設における保健・福祉に関する『現場で役立つ実践的な内容』の講習会を開催します。ぜひ、ご参加下さい。

今年度予定

- 1) 失語症コミュニケーション講座 (7月27日)
- 2) カンファレンス・ケア会議の達人になる! (9月)
- 3) デイサービスでの効果的な体操 (10月)
- 4) 高次脳機能障害の評価とリハビリ (12月)
- 5) 利用者と介護者に優しい介護技術 (2月)

3. 現場での助言・指導(講師派遣)

南部には渡嘉敷村、久米島町など7つの離島町村がありますが、リハビリ資源が極端に不足しています。ご依頼に応じて、PT・OT・STなどを派遣し実施指導を行います。

予定

渡嘉敷村デイサービスの現地指導
久米島町保健師との同行訪問
その他、研修会の講師など



4. 当事者団体や関係機関との連携ネットワーク構築

障害者や高齢者と家族、保健・医療・福祉関係者が協力連携して、みんなが住みよい町をつくるのが大切です。そのための仲間づくりを行います。

詳しくはホームページをご覧ください。

おもと会地域リハ

検索



カンファレンスの達人になるために これがカンファレンスだ！

とき：平成20年2月3日（日）

場所：おもととよみの杜

講師：片岡 靖子 先生（久留米大学 准教授）



講師の片岡先生は病院のMSWを経て、現在は福岡の久留米大学に勤務する傍ら、全国各地で講演活動を行っていらっしゃいます。

今回の講習会のテーマは『カンファレンスの達人になるために』。病院内で、在宅ケアの場面で、多くのカンファレンスが開催されています。・・・が、みなさまが参加しているカンファレンスは活気がありますか？ 淡々と、あるいはドンヨリとしていませんか？ そんなみなさまのためにカンファレンスの質を高めるコツを教えてくださいました。（一部だけ紹介します）

コツ1 患者様/利用者様の『ストレンクス』を見つけよ！

『ストレンクス』とは、《強み、能力、興味》です。例えば「介護に文句ばかり言う利用者」も見方を変えれば「現状に満足していない前向きの人」です。その人の長所として捉えることでポジティブなカンファレンスになります。

コツ2 苦手な職員の『ストレンクス』を見つけよ！

「仕事が増えそうなプランには反対する職員」も、見方を変えれば「現実的なプランか？ プレーキをかける役割の職員」です。職員のストレンクスを見つけることも大変重要だと分かりました。

最初に少し講義があり、すぐグループワークになりました。片岡先生の指示で『自分のストレンクス（良いところ）を5つ挙げる』『隣の人のストレンクスを5つ見つける』課題では、一瞬のうちに参加者が元気になったのが印象的でした。誉められると気分が良くなるのは誰でも同じです。カンファレンスの場面だけでなく、臨床のあらゆる場面で応用したいと思いました。

平成20年度もまた講義をしていただきたいと感じた素晴らしいお話でした。



みなさまの声、要望をお聞かせください。
おもと会地域リハビリ支援センターに望むこと、
希望する講習会テーマなど教えてください。

発行：おもと会地域リハビリ支援センター
責任者：石井和博
住所：〒902-8571 那覇市安里1-7-3（大浜第一病院内）